

独国獣医師による講習会のお知らせ

日時：令和7年12月6日（土）9時20分～12時30分

場所：静内種馬場 研修寮2階講義室

対象：獣医師（1次診療・2次診療など職種は問いません）

※本年は実習および生産者向け講習会は実施しません

講師：ザーラ・ジーラフ獣医師

演題：競走馬診療における骨シンチグラフィ
～日本での導入から臨床応用まで～

「馬を対象として骨シンチグラフィ導入までの歩み」

講師：山田 一孝 先生（麻布大学 臨床診断学研究室 教授）

「JRAトレーニング・センターにおける骨シンチグラフィ導入と高度画像診断」

講師：野村 基惟 先生（JRA競走馬総合研究所 臨床医学研究室）

「馬の整形外科疾患に対する骨シンチグラフィと高度画像診断

～ドイツのウマ臨床現場からの実践的知見～

講師：Dr. Sahra Sielaff（Pferdeklinik Bargteheide, Germany）

プロフィール：Dr. Sahra Sielaff

ドイツPferdeklinik Bargteheide GmbH&Co.KGに所属する獣医師。2008年から2014年まで同院のVeterinary Technicianとして勤務した後、ベルリン自由大学で獣医学を専攻し、2020年に卒業した。大学ではウマの骨シンチグラフィで使用される2種類の骨向性物質を比較する研究に従事し、Equine skeletal scintigraphy: Comparing lesion detection ability of methylene diphosphonate and hydroxymethylene diphosphonate in the caudal cervical and proximalmetacarpal /metatarsal regions (Veterinary Record. 2024)として論文を執筆された。

所属するPferdeklinik Bargteheideは、ハンブルク近郊に1993年に設立され、ドイツ北部の主要なウマの2次診療施設として、国内外から症例が集まり、骨シンチグラフィ検査や立位MRI検査（Hallmarq社）やCT検査（Qalibra社）といった高度画像診断機器による画像診断を用いた診療を行っている。特に、骨シンチグラフィ検査については、MiE社製の馬用ガンマカメラ開発に携わり30年来の検査実績があり、現在も年間400頭近くの検査を実績している。Sahra Sielaff先生はその中心として活躍されており、二次診療施設の画像診断について豊富な経験を有している。また、ブラジルのウマ診療施設にMiE社製のガンマカメラを導入する際には、現地での立ち上げに携わってサポートした経験がある。

